

新年を迎えるにあたって



一般社団法人中央酪農会議 会長 中 家 徹

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

酪農家並びに関係の役職員の皆様におかれましては、日頃より、本会議事業への格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、昨年が発生した豪雨や大雪等により被害を受けられた方々には心よりお見舞い申し上げます。新しい年を迎えるにあたり、最近の酪農をめぐる情勢を踏まえ、所信の一端を述べさせていただきます。

酪農経営を巡る環境は、飼料及び燃料をはじめとしたあらゆる資材価格が高騰する一方で副産物収入となる子牛価格が暴落する経営の危機に加え、過去最高水準の乳製品在庫を抱えるなど生乳需給の緩和が重なる複合危機といえる状況にあります。これらの現状を放置すれば、離農・廃業により国内酪農生産基盤の壊滅的な毀損は避けられない上に、将来の牛乳乳製品の安定供給に大きな支障をもたらし、わが国の食料安全保障上も重大な懸念に繋がりがねません。

このため、可能な限り外的要因に左右されにくい酪農経営に移行するための対策として国産飼料の生産・利用拡大等を図る一方、緊急的な支援として、継続的な飼料高騰対策や金融支援で経営を支えつつ、生乳の需給改善を進めるとともに、さらに出回り量が低下している脱脂粉乳の需要拡大を図り、生産コストを適切に価格転嫁できる環境を整備することが急務の課題となっています。また、現行の畜安法下における需給対応の不公平感是正に向けた検証も重要と考えております。

本会におきましては、国によって措置された各種補助事業等も活用しつつ、生産抑制等の入り口対策の他、乳製品在庫削減に係る出口対策等に取り組むこととしております。また、酪農家の経営危機について幅広い国民に理解を求めるとともに、飲用需要を維持・拡大させるため、昨年11月の飲用牛乳等の小売価格の値上げを踏まえ、「スゴいぞ！牛乳」というスローガンを設定し、牛乳は国産100%・栄養豊富・健康に役立つ等、ただの飲み物ではないことを伝えていく取組を開始しております。さらに、独占禁止法の遵守等、コンプライアンスの確立も図ってまいります。

令和5年度におきましても、本会役職員一同、指定団体及び会員組織の皆様と連携し、今後も酪農家の皆様が、引き続き「誇り」、「やりがい」、「夢」を持てる酪農産業を確立して行けるよう努めてまいります。

本年も酪農家及び酪農関係者の皆様方のご支援、ご理解の程、宜しくお願い申し上げますとともに、新しい年が皆様にとりましてより良い年となりますよう祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。